



三重県に2か所しかない圏外地区の1か所が四郷地区にあります。何度となく水害に見まわられた教訓から、自然環境をストップさせるため指定されました。地域の人たちの努力ですてきな自然が残されています。家族で出かけませんか。

春の丘、夏の広場、秋の小径

春の丘、夏の広場への入口は日野神社横を上りきった左手にあります。小さな道案内が目印。

春の丘に車を止めて夏の広場へのんびりと散策しましょう。自然の中でどんな遊びを発見できるかな？

秋の小径へはマックスバリュー北側の駐車場が便利。

きれいなトイレがあり、障害者用トイレはベビーカーも入れる広さです。くすの木のところから上がると小さな山道になります。伊藤小左衛門の墓を過ぎると京都の嵯峨野を思わせる竹林。上りきるとそこは秋の小径です。素敵なおみじの紅葉が楽しめます。



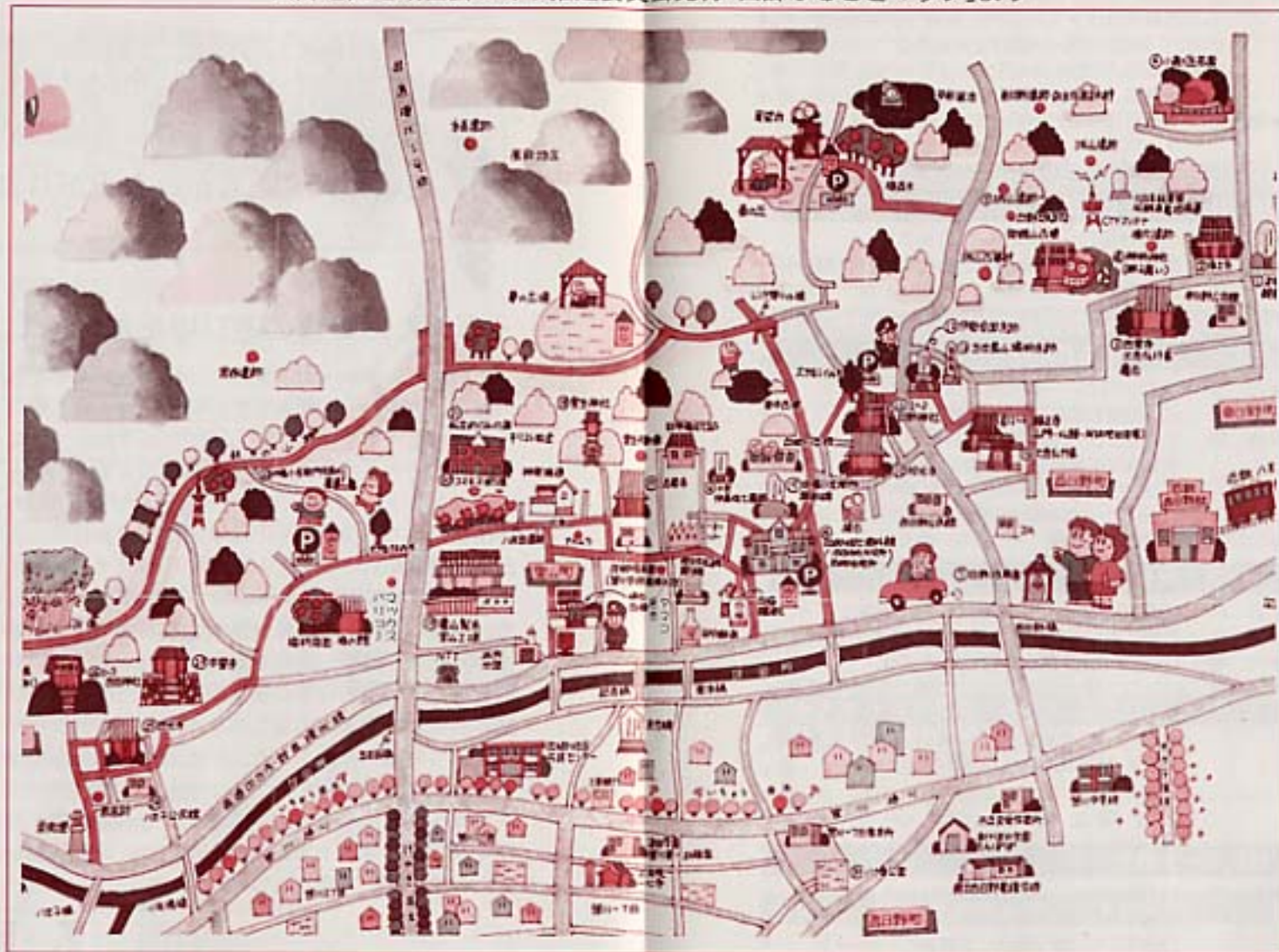
竹林



秋の小径

四郷にふるさとを訪ねて

四郷地区地域社会づくり推進委員会発行「四郷ふるさとマップ」より



資料 四郷地区市民センターで販売されています。
「四郷ふるさとマップ」 1部 100円
「四郷ふるさと史話」 1冊 500円

見学案内

四郷郷土資料館	開館日 第2・4土曜日 9:00~16:00
白梅 笹野酒造部	(見学申込み必要) TEL.0593-21-0030
神楽酒造	(見学申込み必要) TEL.0593-21-2205
中村酒造	(常時見学できます)
ヤマコ醤油	(見学申込み必要) TEL.0593-21-2170

交通案内

【交通機関】
・ 近鉄 四日市駅で八王子線に乗り換え、終点西日野駅下車
・ 三重交通バス 近鉄四日市駅南三重交通乗り場より徒歩10分
高花平、小山田病院、宮家口、権大神社行きに乗り換える(約15分)



四郷は四日市の

近代産業発祥の地

四郷谷を中心とするこの地区は、古くは米・麦・あわ・菜種・そば・藍・大豆・煙草・綿花などの農業の他、養蚕・製茶業が営まれていました。醸造業も盛んで清酒・醤油が多く作られていました。

明治の初め、伊藤小左衛門が製糸工場を、伊藤伝七が紡績を始め、製茶や醸造業も活気づき、村のくらしは豊かになっていきます。

大正時代になると八王子〜四日市間に鉄道が開通、村でできた工業製品を大量に運ぶことができるようになり、さらに生糸の輸出は盛んになりました。

大正10年、伊藤伝七の寄付により四郷村役場が建てられました。これは明治の面影を伝える洋風建築で、当時、村役場としては全国一のデザインといわれました。いまは郷土資料館になっています。



道標は全部で10ヶ所

なつかしい歴史の町並み

日野神社北側駐車場か四郷郷土資料館裏側駐車場がおすすめ。日野神社から顕正寺までは石の模様の道と赤い舗装の道をたどって行きます。

顕正寺の山門はお城の大手門が移築されたもの、扉は重厚で長い年月を感じます。

四郷小学校横の道から四郷郷土資料館へ、町並みを見下ろすといらかの波、坂道に建つ郷土資料館は神戸の異人館のおもむきです。

トーヨーニットののこぎり屋根、醤油工場、酒造所がつづきコスモス街道へ。ゆっくり歩いて1時間30分。さらに八王子町へ。家々の間を歩いていると風が抜けていきます。ゴールの吉田神社までもうちょっとです。